

169. 子供と下水道展

資源エネルギー技術課長 三宅晴男

今年も夏真っ盛りの8月1～4日にわたり、東京ビックサイトにおいて下水道展が開催されました。開催にあたりご尽力されました皆様、大変お疲れ様でした。またJSブースにも多くの皆様においで頂き、感謝申し上げます。

日本下水道協会のHPを拝見しますと、来場者数55,972名のうち、一般（学生等を含む）の方は約10%、そのうちKIDS（小学生以下の分類だったはず）は597名もの参加があったそうです。これまで子供向けイベントも開催されているなあ、と思っはいたものの、あの大人（しかもほぼ業界人っぽい）がごった返している中、それほどの子供が参加されていたとは思っておりませんでした。

さて、個人的な話で恐縮ですが、我が家では下水道展東京開催の折、妻がこれまで数度子供を連れて参加していました。今回は私の夏休みを兼ねて、最終日に小学3年生の娘と2人で参加してみました。父子での参加も結構いらっしゃるようで、同じく夏休みをとられたと思われる方が小6の娘さんと管路の仕組み模型の説明に聞き入る等、ちょっとうらやましい光景も見られました（それくらいのお年頃になると、たぶん我が家ではかまって貰えないと想像します）。

子連れだと、これまであまり目が向いていなかった会場全体でのクイズラリー、パブリックゾーンでの体験やイベントへも足が向かいます。パブリックゾーンで開催されていた「下水道なぞとき」は、下水道の知識に加えてなぞなぞの要素も加わり、私も含め子供と一緒に頭を捻っていた親も多く見られました。し、回答記載用として頂いた「研究ノート」には、下水道に関し様々な調べるべきポイントや、調べたものを上手にとりまとめるコツ等も記載されており、夏休みの自由研究に非常に役立つものと思われました。

また会場内では、子供に対し様々な方からお声かけ頂き、ノベルティを頂いたり、アンケート回答等により「下水道のひみつ」や「ポンプのひみつ」等、大人でもためになりそうな図書も入手できました。

体験型イベントとしては、マンホール缶バッジや廃油キャンドルの製作等は勿論、下水道管の調査や浸水時歩行体験等も子供には好評でした。また武蔵野市さんが開催されていた「水の行き先体験」では、子供自身が水となって旅をする過程を通し、楽しく勉強させて頂くとともに、脇で待っている親に対しても、市の取り組みについてご担当者よりわかりやすくご説明頂き、大変勉強になりました。

ステージでの催しも、小さい子供向けだろうと（自分も小さいくせに）我が子は最初参加しようとしませんでした。いざ「キャプテン・ゲスイの宝島」なるイベントが始まると、帰宅後しばらくはテーマ曲を踊る等、まだまだ小3には魅力的だったようです。周りのお子さんも楽しかったようで、複数回参加された子もいらっしゃるようでした。

このように子供は勉強に加えいろいろなお土産をゲット、と喜び、私も便乗してマンホ

ールカードをたくさん頂く等、開場からほぼ最終時刻まで下水道展を満喫しました。

上記のように、楽しく水や下水道について学べ、悩ましい子供の自由研究の一助にもなる下水道展は、お子様向けにも大変お勧めのイベントだと思います。とはいえ次回の下水道展は来年7月24～27日の予定ですし、そもそも開催地以外のお子さんはなかなか参加が難しいと思われます。そこで次に注目すべきは来る9月10日の「下水道の日」です。皆さまご勤務の団体、或いはお住まいの地域で様々な関連イベントが企画されているところも多いと思います。主催者側としてご準備にお忙しい方も多いと思いますが、是非お子さん、ご家族をご招待、若しくは一緒に参加されては如何でしょうか。お父さん、お母さんのお仕事への理解が深まること請け合いです（残念ながらわが子の夏休み自由研究は「星座について」でした）。